
怪獣対魔法少女リリカルなのは&ウルトラマンゼロ2

亀7

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

怪獣対魔法少女リリカルなのは&ウルトラマンゼロ2

【Zコード】

Z9450Z

【作者名】

亀7

【あらすじ】

今度の怪は、『怪獣対魔法少女リリカルなのは&ウルトラマンゼロ』の世界に、戻つて来ます。

『怪獣対忍術2』から、続いてます。

『怪獣対魔法少女リリカルなのは&ウルトラマンゼロ』の時代から、3年後。

時代は、ViViDの半年ぐらい前。

設定（前書き）

設定です。

設定

名前 怪

年齢 20才

容姿 普通

服装 NARUTOの暁のコート

能力 ウルトラマンに出てきた怪獣の能力と姿。

武器 ギガバトルナイザー（怪獣の数は、不明。）

移動した世界順

NARUTO

怪獣バスターズ

魔法少女リリカルなのは s t s

トリコ

NARUTOの順番で移動している。

体の中には、時空管理局から盗んだ魔力以外の動力のロストロギアを全て取り込んでいる為、歩く爆弾。

トリコの世界で、二トロ、オリジナル食材の星飴を取り込んだ。

大体が、敵役で居る場合が多い。

自爆して、逃げる事が多い。

設定（後書き）

これから、よろしくお願いいたしますーー！

フラグ?無い無い。(前書き)

はい。

フラグ？無い無い。

で、
「久し振りのアジト。」

このアジトの情報。

『怪獣対魔法少女リリカルなのは&ウルトラマンゼロ』で、
使っていたアジト。
まあ、迷路になっている。
山奥に、洞窟にある。
以上。

ズッ

「家具を、置こうっと。」

前から、取り込んでいたまだかなあ。

「ついでに、体に取り込んだロストロギアのエネルギーを全部、吸
いとつておこう。」

強くなれるかな？

「ウケツ」

・・・この笑い方が、元々だから。

本当だよ。

約5分ぐらいが、経過。

で、家具を、置いたけどなあ・・・。

ブクッ

「さっきから、身体が膨らむ？？？太っているのか？」

ブクブクッ

「まさかの、エネルギー太りかよ！？」

現在、ハリセンボンが膨らんだ状態です。

「うう、気持ち悪い・・・」

いろいろ、混ざった味がする・・・。

約3～4時間が、経過。

「一応、落ち着いたが。」

なんか、

「太った。」

うん。

身体中から、高揚感を感じるけど。

「太った・・・」

元々、太っていたけど。

いや、もう書くけど。

「俺は、太っているよ？」

悪い？

設定に、書いてなかつたけど。

「太っているけど？」

・・・止めよう。

自分で、書いていて嫌になつた。

体重？

「聞くなっ！！」

・・・読んでいる人の、想像に任せると。

約5～6時間が、経過。

で、
「・・・。」

目の前には、体から出したロストロギアの山が、有った。
けど、

「全部、
砂に、なつた。

「いや、吸い取り過ぎた。」

「ま、まあ、返さないで済むから良いか?
・・・だよな?」

「取り敢えず、現在ミッドチルダの状況の把握だ。」

家具の1つの、テレビ?の電源を着けた。

・・・何で、観る事が出来るかはジエイルの技術力つて事。

約1時間が、経過。

現在、夜。

前から、約2年経過。

・・・まあ、良いけど。

・・・Forceに、入るのかな？

「ん？ 第16？ 世界の？ なんとかコーポレーション？ が、怪獣に潰された？」

映像的には、

「ジャックのテロチルス？」

あん？

「フッケンバイン一家の全員が、異星人に壊滅させられた？」

犯人は、逃亡中？

・・・物騒なニュースばっかだなあ。

ズブッ

シリ

トリコの世界で、手に入れたストーンアップルを、出して食つた。

「まあ、さつきのでForce？ の話は消えたんだよな？」
多分だろうけど。

シリ

ガキッ

「まあ、取り敢えずアンダーグラウンドに行くか。
テレビを、消してつと。

テレビーション

ビュン

で、
アンダーグラウンドに入る前に、路地裏で見つけた。
目の前には、

「ボコボコにされて眠っている、大の大人の集団。」
つてか、正体はフック星人。

と、

「白髪？銀色？のオッドアイの変な奴。」

「・・・。」

なんか、構えて居る奴。

・・・あれ？

「アインハルト？」

「・・・。」

えつ、フラグ？

・・無いな。

亀フが、OKする訳が無い。

だから、

「潰せか。」

いや、そこまでは無い。

「ハアツ！！」

ビュン

間合いを詰めて、アインハルトが怪の腹に正拳突きを、繰り出して

来た。

ゴンッ

「うつ・・・。」

怪が首を伸ばして、そのままアインハルトの顔に、頭突きをしてい

た。

バタンッ

「まあ、首が伸びるとは思わんよな。」

つてか、気絶目的に正拳突きをするなよな・・・。

ガシッ

「よつこらせつと。」

家に、送つて置くか。

脳内スキヤンみたいなのをして家を、調べてつと。

テレポーテーション

ドサツ

「・・・うん?」

「もう一度、寝てろ。」

『バオーン』

「うつ・・・。」

スヤスヤ

バオーンの鳴き声で、眠つて貰つた。
姿は、元の姿? だよな?

後

ええっと、デバイス? のデータも消して置いてつと。

・・・もう、

「アジト、戻つて寝よ。」

アンダーグラウンドは、明日だ。

なんか、もう疲れた。

ビュン

テレポーテーション

フラグ?無い無い。(後書き)

普通。

ありなんか。 (前書き)

だよ。

さうなるか。

アジト、

「・・・。」

怪は、暁のコートを着て寝ていた。
つてか、服が他に無い。

「・・・ぐがつ！？」

呼吸が、止まっていた。

「げほつ！・・・ん～あ、朝か。」

・・・太ったなあ。

・・・つてか、

「アインハルトとか、何だ？」

魔法少女リリカルなのはの原作は、あまり知らんぞ。

「まあ、アンダーグラウンドに行くか。」

テレポーテーション

で、アンダーグラウンドに、怪は居た。

正確には、そこに有るモニターを観ていた。

ちなみに、アンダーグラウンドはホールや商店街や、モニターだけとかの区域がある。

今、居るのはモニターが有る区域の、『賞金首』の手配がしているモニターを観ていた。。

ここでの賞金首は、強い異星人や管理局員などが、手配されている。

賞金首の中に、

「ヴェロッサ・アコース。」

・・・。

生きていたのか。

「じゃあ、あの管理局が発表した死亡の一コースは、嘘か。」

「ヴェロッサ・アコース死亡」の詳しきは、『怪獣対魔法少女リリカルなのは& a m p; ウルトラマンゼロ』を、読んでください。

さしづめ、修正力が働いたか。

まあ、どうでも良いけど。

「さて、」

手配されている中には、

「オッドアイの2人も、手配されているんだよなあ。」

誰かは、まあヴィヴィオとアインハルト（大人状態）だと思つ。

他にも、原作キャラやウルトラマンゼロやらいろいろ有つた。

「・・・昨日のフック星人の奴等は、自業自得だな。」

だつて、さつき飲食の区域で包帯を巻いて集団で酒を飲んで、愚痴つて居たし・・・。

一応、此処には怪獣の手配も有る。

例、黄金怪獣、ゴルドンを20体捕獲。ただし、傷が付いている、死んでいるのは無し。

「まあ、見た目がセレブに變されている奴だからなあ。」

科学力が、有つても資金的にいろいろ出来ない奴が、居るからな。円盤とかも、高いし。

特に、ペダン星、サロメ星、とか。

「まあ、次は商店街つと。」

で、

怪獣や武器の販売の区域。

前に、怪獣を買ったのもこの区域。

似た様な奴、ばつかだなあ。

まあ、俺の場合は自力で捕まえた方が確実に早いけど。

マルチとか、さつきから何回も見たな。

良いの無いし。

「機動六課を、見てこよひつと。」

で、

湾岸の機動六課。

「襲撃したから、防備が上がってるな。

金、どんだけ使った。

新品だろ?」

ピカピカに、なっているし。

何か、建物もデカくなっているし。

「予算、よく落とせたな。」

ああ、バックの根回しか。

陸、予算が無いな。

「・・・侵入開始。」

透明化、壁抜け。

ズズッ

そつなるか。 (後書き)

原作キャラは、死ににくい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9450z/>

怪獣対魔法少女リリカルなのは&ウルトラマンゼロ2
2011年12月31日16時49分発行